

平成 22 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコン
 代表者名 代表取締役社長 直 江 啓 文
 (J A S D A Q ・ コード 8892)
 問合せ先 取 締 役 明 石 啓 子
 電 話 06-6223-8055

平成 22 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 2 月 15 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期通期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）の連結業績予想を下記の通り修正することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期通期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 22 年 2 月 15 日）	22,200	1,500	800	2,400	7,186 円 40 銭
今回修正予想（B）	14,800	1,300	500	2,100	6,288 円 10 銭
増減額（B－A）	△7,400	△200	△300	△300	△898 円 30 銭
増減率（%）	△33.3	△13.3	△37.5	△12.5	△12.5
（参考）前年実績 （平成 21 年 12 月期）	27,235	△7,424	△9,159	△8,685	△42,743 円 80 銭

2. 平成 22 年 12 月期通期 連結業績予想修正の理由

低金利、住宅ローン減税等政府の経済対策の効果もあり、一部回復の兆しは見られるものの、デフレの長期化や将来不安に伴う消費マインドの冷え込みは依然として続いており、本格的な市況の回復にはなお時間を要するものと考えられます。

このような状況下、当社は在庫の早期売却及び資産の圧縮によるキャッシュの確保を最優先に事業に取り組み、分譲事業については、平成 22 年 12 月 24 日（本日）時点において前期末在庫 135 戸を 30 戸に圧縮する等販売を促進してまいりましたが、一部物件での販売状況の遅れ等により売上高 3,840 百万円（当初計画比 20.0%減（当初計画 4,800 百万円））と減少する見込みであります。アセット開発事業及び不動産企画販売事業については、売却価格の調整がつかないこと等により、予定していた不動産の売却案件が中止となったこと、ならびに売却時期が来期以降にずれしたことにより、アセット開発事業売上高 6,270 百万円（当初計画比 34.7%減（当初計画 9,600 百万円））、不動産企画販売事業売上高 4,440 百万円（当初計画比 39.2%減（当初計画 7,300 百万円））と減少する見込みであります。不動産関連業務受託事業についても、当初予定していたコンサルティング業務が減少したことにより、売上高 250 百万円（当初計画比 50.0%減（当初計画 500 百万円））と減少する見込みであります。

利益面について、営業利益については、事業再生の過程で販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、前述のとおり売上高が減少することから、1,300百万円（当初計画比13.3%減）となる見込みであります。経常利益については、売上高減少の要因となった物件売却時期の変更もしくは物件売却の中止に伴い、借入返済の時期も変更となったことにより支払利息が増加することから、500百万円（当初計画比37.5%減）となる見込みであります。当期純利益については、特別損失の発生及び当初計画していた特別利益の計上がなくなったことにより、2,100百万円（当初計画比12.5%減）となる見込みであります。

なお、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、本決算手続を行ううえで、債権及び投資有価証券ならびにたな卸資産、固定資産等の資産について、評価を行っております。この結果によっては、実際の業績と異なる可能性があります。

以上